

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・R1年度)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	産業建設部	
	17018	橋梁長寿命化修繕事業			課名	土木課 施設保全G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:道路の保全・整備				款	08:土木費
	施策の方向	04:道路施設の適切な維持管理				項	02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	-				目	06:橋梁維持修繕費
	事業予定期間		H 27 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等		道路法・道路構造令・道路橋示方書	

② 目的・概要	対象	道路利用者
	目的	対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長「長寿命化」、修繕に要する経費のコスト縮減に努めるものである。
	概要	平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する橋長15m以上の橋梁(114橋)の補修を計画的に進める。

③ 事業の計画・実績	年度計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		○補修設計 ・小谷跨道橋、立谷橋、住山橋、西中谷橋		○補修設計 ・筆捨橋、星田橋、北山橋、布気跨道橋 ○補修工事 ・高飛大橋、太岡寺ばんた橋、忍山橋、小谷跨道橋、立谷橋、住山橋、西中谷橋		○補修工事 ・市瀬橋、星田橋、北山橋、布気跨道橋、久我橋	
		補修設計 小谷跨道橋、立谷橋、住山橋、西中谷橋		○補修設計 ・筆捨橋、星田橋、北山橋、布気跨道橋 ○補修工事 ・立谷橋、住山橋			
事業費	計画額	事業費	8,000千円	90,000千円	85,000千円		
		国庫支出金	4,400千円	49,500千円	46,750千円		
		県支出金					
		地方債	3,200千円	36,400千円	34,400千円		
		その他					
		一般財源	400千円	4,100千円	3,850千円		
	予算額（※）	事業費	8,000千円	73,782千円			
		国庫支出金	4,400千円	40,579千円			
		県支出金					
		地方債	3,200千円	29,800千円			
		その他					
		一般財源	400千円	3,403千円	0千円		
	決算額	事業費 ①	7,529千円	73,781千円			
		国庫支出金	4,140千円	40,580千円			
		県支出金					
		地方債		20,800千円			
		その他					
		一般財源	3,389千円	12,401千円	0千円		
	人件費	総人件費 ②	614千円	2,335千円			
		一般職員	614千円	2,335千円			
所要人員		0.08	0.30				
臨時職員等		0千円	0千円				
総コスト(①+②)		8,143千円	76,116千円				
受益者負担率		0.0%	0.0%				

					平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	長寿命化修繕工事済み橋梁数(累計)	活動	計画値	6	13	18
					実績値	6	8	
					単位	橋	橋	橋
	②	名称			計画値			
					実績値			
					単位			
	③	名称			計画値			
					実績値			
					単位			

⑤事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 過年度までは、高速道路の高架橋修繕工事を受託工事として高速道路管理者に依頼していたが、同様工事が他の自治体にもあり道路管理者への依頼が多方面から受けており、「修繕本体工事+交通規制業務」の一括受託依頼が困難となるため、分割発注の検討を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 高速道路管理者と密な協議を重ねて「修繕本体工事は亀山市単独発注、交通規制業務は高速道路管理者受託工事」と分割発注の検討を行い、分割発注を行った。

		評価	(判定)
⑥事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 高速道路を跨ぐ橋梁修繕工事を実施する際には高速道路上での交通規制協議を行った。 筆捨橋、星田橋、北山橋、布気跨道橋の補修設計及び立谷橋、住山橋の補修工事を行った。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 修繕本体工事は亀山市単独発注・交通規制業務は高速道路管理者受託工事とした分割発注の成果を挙げられたことで補修工事完成に至った。また、今回の工事において多様な工事の発注対応経験ができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 他の自治体からも道路管理者への依頼が多方面からあり、「修繕本体工事+交通規制業務」の一括受託依頼がより困難となっている。	今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 亀山市単独での高速道路管理者との受託協議を行うのではなく、三重県道路管理者を加えた三重県下全体要望として高速道路管理者と協議を進め、一括受託の検討を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 今後も高速道路の跨道橋修繕工事の予定があるため、修繕本体工事+交通規制業務を一括受託とし、高速道路上の工事をより円滑かつ安全に行い、事業の進捗を向上させる。	
	対応時期	令和元年度上半期	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設保全グループリーダー 宮崎 伸二
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B			
	成果	A	B			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

	予算額(事業費)	73,782 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	- 千円
	平成30年度最終予算額	93,876 千円
	令和元年度への繰越額	△ 20,094 千円